

個人山行

奥秩父：甲武信ヶ岳

- ◆日程 2018年7月15日(日) 前夜発日帰り
- ◆メンバー L：大山
- ◆天候 晴れ

甲州、武州、信州にまたがる山で近郊の山としては比較的奥地にあるため、今まで登ることができなかった。アクセスを考えると西沢溪谷から入るのが一般的だが、山頂まで距離があるため日帰りにはかなりのスピードが必要である。今回は、3連休を利用して前夜泊で長野県側の毛木平からアプローチした。毛木平から千曲川源流を辿るコースは、山頂への最短ルートであるが、復路に埼玉最高峰の三宝山、武信白岩山、十文字峠を通るルートを選択し、変化のとんだ周回コースとした。

7月15日(日) 天候：晴れ

夜が明け周りの登山者が活動し始めたので、予定より少し早いが5:37スタートした。毛木平からは千曲川源流に向けて沢沿いに行くコース。苔むした樹林帯のなだらかなコースを登る。連日の猛暑予報ではあるが、沢沿いの樹林帯は快適である。ナメ滝も一枚岩を流れ落ちるなだらかな滝で、登山道も急登はない。苦勞することなく千曲川水源地まで到着する。小さな砂地から滾々と水が湧き出しており、確かにその上流側には水の流れていない。水源の水で喉を潤し山頂を目指す。

ここから暫し急登が続き、樹林帯を抜けると視界が開け富士山が顔を出す。低い雲がいくらかあるが快晴なので、南アルプスや八ヶ岳も見渡せる。そこから一登りで甲武信ヶ岳山頂へ到着する。山梨県、埼玉県、長野県にまたがる地である。頂上からの景色を楽しみ、昼食のために甲武信小屋へ移動する。



昼食後、復路に着く。三宝山、武信白岩山、大山を辿るプチ縦走コースである。しかし、これが結構きつかった。毛木平から甲武信

ヶ岳までは標高差約1000mであるが、朝の涼しい時間帯、さらに沢沿いの樹林帯ということもあり、快適な山歩きだった。復路は3つのピークを越えるため、登り返しが結構きつい。日が高くなり気温が高くなってきたこともあるが、やはりメンタル的なものが大きい。「下山」のイメージが強く、登り返しを受け入れられない。もう少しコースシミュレーションして、しっかりと頭に叩き込んでおくべきだった。ただ、武信白岩山などはとても奇怪な岩の山頂であったり、シャクナゲが群生していたりと変化に富んでいるので、何とか気持ちを繋ぎ留め下山することができた。

(記：大山)

CT：毛木平登山口 5:37 - ナメ滝 7:03 - 千曲川水源地 7:54 - 甲武信ヶ岳 8:37
 - 甲武信小屋 8:54/9:22 - 三宝山 10:08 - 武信白岩山 11:09 - 大山 11:46
 - 十文字小屋 12:17 - 毛木平登山口 13:25